

2024年12月号

特集

- 2024年10大ニュース 2~3
- 12月3日~9日は障がい者週間 6~10
- 保険証が発行されなくなるとどうなるの? 11~12
- 市からのお知らせ 13~17
- 連載 18~27
- なんでも情報コーナー 28~35
- 太宰府の文化財 36

私のだざいふ

世界に羽ばたく人材育成特別表彰
バトントワーリング世界大会ペア部門第2位

原 有希さん



私が「世界に羽ばたく人材育成特別表彰」を受賞したときはとても嬉しかったです。ありがとうございました。

私は太宰府市にある筑紫女学園大学に通い、また太宰府天満宮参道のカフェでアルバイトをしていました。太宰府天満宮には小さい頃から毎年、初詣に行きました。留学前も訪ねました。現在は、大学の先生方も後押しをしていただき、休学してカナダのバンクーバーへ留学しています。

私はバトントワーリングを5歳から今まで約18年間続けてきました。最初は趣味で始めたのですが、小学生からはほぼ毎日のようにバトンをしてきました。そして昨年2023年8月にイギリス・リヴァプールで行われたIBTFバトントワーリング世界大会のペア部門に出場することができ、思ってもいなかった第2位という成績を取ることができました。

今の目標は、カナダにいる間、後輩の指導のお手伝いやイベントに出演したり、バトンに関わりながら、語学はもちろんのことカナダでしか学べない文化や価値観を身につけてカナダライフを楽しみたいと思っています。

市政ニュース

友好都市交流 太宰府市・多賀城市の中学生が交流しました

太宰府市・多賀城市中学生交流事業「ふるさと・夢プロジェクト」で、本市の市立中学校の3年生の代表者が「ふるさと大使」として、友好都市・多賀城市を10月9日(水)~11日(金)に訪問しました。参加者は、現地の中学生と交流し、多賀城跡をはじめとする史跡を見学して学んだことなどを、全校生徒の前で報告します。

また、10月25日(金)~27日(日)には、友好都市・多賀城市の中学生が本市を訪れました。中学校訪問や史跡地見学などを通じて、両市の親睦を深めました。



多賀城市役所への訪問



太宰府市役所への来訪



多賀城跡の見学



太宰府展示館での見学・解説

全世代居場所と出番構想

いきいき情報センターに太田宏介アトリエ館オープン

本市在住で自閉症の画家・太田宏介さんのアトリエ館が10月24日(木)にいきいき情報センター1階で開館し、記念セレモニーを開催しました。

楠田市長は「世界に羽ばたく太田さんの作品に身近に触れていただけアトリエ館オープンは喜ばしいことです。いきいき情報センターがその名通り明るくにぎやかになり、利用者の増加と地域活性化に繋がることも期待します」と挨拶し、太田宏介さんは「がんばります」と力強く抱負を語りました。

アトリエ館には15点ほどの作品が展示され、新作ができ次第、入れ替えが行われる予定です。



オープンを喜ぶ太田さん(中央)

まちのトピックス

世界に羽ばたく人材育成

全日本ID(知的障がい者)柔道大会で優勝

本市在住・朝倉光陽高校1年生の櫻井ひよりさんが、9月に東京都で開催された全日本ID(知的障がい者)柔道大会で優勝したことを報告するため、太宰府市役所を訪問しました。

櫻井さんは「以前、広報紙^{*}で紹介してもらったことが励みになった。さらに強い選手を目指して頑張りたい」と語りました。

楠田市長は「家族で支えあって柔道に取り組んでいるのは素晴らしいです。ぜひ世界を目指してほしいです」と激励しました。

^{*}広報だざいふ令和5年12月号に掲載



優勝を報告した櫻井さん(前列中央)

世界に羽ばたく人材育成

全国中学校柔道大会で2年連続の準優勝

本市在住・沖学園隆徳館中学校3年生の木村莉子さんが第55回全国中学校柔道大会に出場し、2年連続準優勝したことを報告するため、太宰府市役所を訪問しました。

木村さんは「高校に進学しても全国大会に出場して良い結果を残したい」と力強く目標を語りました。

楠田市長は「決勝戦では悔しさもあったと思いますが、ライバルに勝てるよう頑張ってほしいです」と激励しました。



準優勝を報告した木村さん(前列右)

世界に羽ばたく人材育成

カラテドリームフェスティバル2024国際大会で3位入賞

太宰府東小学校4年生の熊本晟成さんが、カラテドリームフェスティバル2024国際大会フルコンタクト空手組手3位入賞の報告に、太宰府市役所を訪問しました。

熊本さんは「来年からさらにレベルが高くなりますが、次こそ優勝できるように頑張ります」と、元気に報告しました。

楠田市長は「前向きにあきらめることなく、努力を続けられたら1位になるチャンスは十分にあると思います。これからも頑張ってください」と言葉をかけました。



入賞を報告した熊本さん(前列右)